

**コロナ支え合い基金に
ご支援いただき、
ありがとうございます！！**



寄付先団体のみなさんからのお礼と活動報告です。

ぜひご覧ください！

もうひとつの美術館 さん 活動報告とお礼

いつも暖かいご支援・ご協力をありがとうございます。

当館では、「面(おもて)と人形(ひとかた)は語る」展を11月23日(祝月)まで開催しています。能面やダンボールでできた仮面、フェルト人形や点と線が結ばれ浮かび上がる人の姿など、そこにあるだけで存在感があり、言葉でなく語りかけてくる、作り手の豊かな感性、精神性が表現された作品を紹介しています。

10月にはワークショップも開催します。詳細につきましては、当館WEBページやFBページ、instagramをご確認ください。ご興味ある方はご予約の上、ぜひご参加ください。

今後も引き続きご支援・ご協力の程、何卒よろしく願いいたします。

そして、皆様のご来館をお待ちしております。

認定NPO法人 もうひとつの美術館 五味渕 仁美

Mail: mob@nactv.ne.jp HP: <http://www.mobmuseum.org/>

Facebook: <https://www.facebook.com/mobmuseum2001/>

Instagram: https://www.instagram.com/mob_museum/

そらいろコアラ さん 活動報告とお礼

こんにちは、

そらいろコアラ 共同代表理事の鳥飼 蓬子と申します。

この度は、「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」を通じて、ご寄付のご支援をいただき誠にありがとうございました。

行政委託等のないまま活動を進める私たちにとって、本当に大きな活動資金になります。

子育て・妊娠・出産のLINE相談「コアLINE」を通じた、特定妊婦さんをはじめとする妊産婦支援のために、大切に使用させていただきます。ありがとうございます。

御礼と活動ご報告に代えて、

メルマガ形式で配信しております活動報告をお送りさせていただきます。(8月以降4号分)

団体や活動へご関心を寄せてくださっている方々へ向けて、月に数回、日曜日に配信しています。

同メルマガは無料で簡単に登録できますので、よろしければ是非ご登録ください。

メルマガ登録フォーム：<https://forms.gle/91T1sWB2g3RND1zG7>

今後も引き続き、活動を見守っていただけますと幸いです。

どうぞよろしく願いいたします。

そらいろコアラ 共同代表理事 鳥飼 蓬子

Email: sora.iro.koala.npo@gmail.com

ホームページ：<https://npo-sorairokoala.jimdofree.com/>

Twitter: @sorairo_koala





そらいろコアラ (NPO申請中)
そらいろノート

2020.8.16
VOL.1

活動報告 最近の活動

妊娠や出産、育児の周りにあるすべての「困った」を受けとめる、みんなの「ポケット」になりたい！その思いから、LINE相談窓口「コアラLINE」を開設します。
この2週間で、栃木県小山市・宇都宮市を中心に、妊産婦さんや子育て家庭の支援に関連する市町課や、医療機関、児童相談所、フードバンク等の市民団体を訪問し、活動の基盤となるネットワークづくりを進めています。私たちが受けた相談を、その方の必要や希望に応じてうまく次の支援につなげていくことが目標です！応援よろしくお願いたします！

今週の気づき
・所属は違っても、私たちは「できること」を生かして課題に挑む「チーム」
・NPOの強みは、「機動力」「柔軟性」と、「近さ」

コアラLINEの準備や、下記のコロナ基金の一環として、社会課題に取り組む多方面の方々と話す機会をいただいています。行政、医療、NPO、報道。

市の担当課も、児童相談所も、他NPOの拠点も、面会するまでとにかく緊張。どんな所なんだろう。新参者の団体と、話をしてもらえるのかな。「一市民が行政の窓口で支援をお願いをするのが、どれだけハードルが高いか」を、疑似的に痛感する日々でした。

ただ実際に訪れてみると、建物の中に入って出会うのは、これまでのところ、思いの通り合う「人」ばかりです。怖くなかったよ、次は一緒に行けるよ、色んな方お伝えしたい、むしろ「同志」「先人」「仲間」に近く、本当に親身活動について助言をくれ、建前でない言葉や情報を共有し、関連する人たちと繋いでくださっています。

色んな方々と関わるなかで、私たちは、所属や役割によって出来ることは異なれど、同じ課題に向かう「人」同士の「チーム」なのだ、感じられています。

同時に、NPOが生かすべき強みは、「機動力」と「柔軟性」、そして「近さ」にありそうだとこのこともわかってきました。現場と意思決定者の近さ。当事者さんや各種連携機関、サポーターさんと近さ。小さな組織だからその強みを生かしながら、進んでいきたいです。

ご支援をお願いいたします

◎コアラLINEの運営をはじめ、継続的な活動資金が必要です。どうかサポーター会員となって活動を支えてください！
登録フォーム：<https://forms.gle/SabTrAWKtEhQTK7S8>



◎認定NPO法人とちぎコミュニティ基金の「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」に参加しています。ここからそらいろコアラへ寄付いただくことで、寄付金控除の対象となります！<https://www.tochicomj.org/cvsorairokoala/>



コアラのひとりごと

このメルマガを、サポーターさんからの意見やアイデアをもらう一つのツールにしたいと考えています！「子育てを地域にひろく」「困っている人を受け止めるポケットをつくる」ために、何ができるでしょうか。色んな声をもらいながら、日々の活動を一緒ににつけていきたいと思います。これからよろしくお願いたします！



そらいろコアラ (NPO申請中)
そらいろノート

2020.8.23
VOL.2

活動報告 最近の活動

先日、とちぎボランティアネットワーク（とちぎVネット）さんへ伺いました。NPO認証前の我々にも、多くの激励とパワーをくださった。感謝してもしきれない先人の方です。こちらのうごきは、多方面で活動される方々と一気につながり、連携の詰まりが完了すること、会う方う方がとてもキラキラ・活き活きとして楽しそうなおことです！

「何が問題？」「どうしたらいい？」⇒「よし、こうしよう」までが本当に早い。わずか30分の滞在で、「コアラLINEでつながる方々の必要時に届ける食料品等の用意」という悩みが解決！フードバンクつのみやさんとつながり、支援に快諾くださり、実際の取組にいたるまでの段取りが決まりました。長期的には同フードバンクの「きずなBOX」の受け取りに参画して、継続的に食料品を用意・支援していく体制もできそうです。フードバンクつのみやさん、ありがとうございます！また一歩、前進！

今週の気づき

自分の思いや考えを実現させようとしている人は、いつもキラキラと活き活きしている。なぜそう見えるのか。きっと自分の活動に誇りを持って動いているからなのでしょう。今を楽しんでいるのかもしれない。そして、新しく動き出したことを全力で応援してくれず、これはもちろん簡単にできることではありません。いろんな「も」を必要とします。

私たちが、みんなの「やりたい！」を応援する団体になりたいと思っています。どんな夢や目標も、出会う人や、少しの勇気、小さな一歩で進んでいける。たとえ今、つらい境の中までひどく苦しんでいても、「環境は変えられない」ということを、そらいろコアラに関わる人たちに実感してほしいです。私たちが今、多くの方から応援していただきながら、「実現したいこと」に向かって動き出しているように、私たちが、「自分なりの答えを見出し、それに向かって動き出す」誰かの背中をそっと押せるような、そんな存在になりたいと思します。(A.I)

ご支援をお願いいたします

◎コアラLINEの運営をはじめ、継続的な活動資金が必要です。どうかサポーター会員となって活動を支えてください！
登録フォーム：<https://forms.gle/SabTrAWKtEhQTK7S8>



◎認定NPO法人とちぎコミュニティ基金の「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」に参加しています。ここからそらいろコアラへ寄付いただくことで、寄付金控除の対象となります！<https://www.tochicomj.org/cvsorairokoala/>



コアラのひとりごと



コアラはカンガルーと同じ有袋類。実はポケット（育児袋）を持っています。カンガルーとの大きな違いは「向き」。コアラはなんと下向きについているのです。下向きだなんて落ちこぼれ……そんな心配はいりません。ちゃんと閉じますよ。そらいろコアラもみんなのSOSを聞きすぎちゃって、子どもたち、そして、あなたを一緒に守り育てていくよ。そんな、みんなの「安心ポケット」になりたいな。コアラはメスだけがポケットをもちますが、そらいろコアラは、性別にかかわらず、家族も、地域も、共に子育てをしつづけて社会を目指します。



そらいろコアラ (NPO申請中)
そらいろノート

2020.8.30
VOL.3

活動報告 “すべては子どもをまもるために”

RIFCAR(リフカー)研修に参加しました。性虐待をはじめとする子どもの虐待の可能性に気づくための知識や、気づいたときの行動や心構えを学びました。
子どもの安全を確保するために、情報聴取による子ども本人の負担を最小にするために、虐待の発見者は、「虐待に気づき、被害など最小限の情報を確認し、支援機関に繋げる」役割と責任を担います。

ひとりひとりの子どもに真摯に向き合う大人になる。支援に繋がるまで繋げる。伴走する。その姿勢や覚悟を教わりました。



今週の気づき

子どもが泣くと泣きなくなる。新生児の父として。
「育児は大変」と言いますが、何が大変なのかわかりずつかってました。育児は、見返りのない愛のすべてを注ぎ続ける作業です。おむつを替えても、抱っこしても、泣き止まない。一睡もせず朝を迎えると頭痛がします。それでも、ありがたいよ。こめんな、もあやません。
それでも、見返りのない愛のすべてを注ぎ続けることができる人が、どれくらいいるのでしょうか。一人では難しい、いつでも常に、は難しい。どうしても向き合えない時や、かわいくないと思える時もあります。そんな時に頼れる実家や友達、きょうだいやパートナーがいなかったら、最近ではない人のほうが多いかもしれません。
そんな人たちの、身近にあって、気軽に助けを求められる。そして、一緒に、時には代わりに、子どもたちに愛情を注いでいける。そんな存在に、そらいろコアラがなれたらいい。(T.M)

ご支援をお願いいたします

◎相談窓口「コアラLINE」の運営をはじめ、継続的な活動資金が必要です。どうかサポーター会員となって、活動を支えてください！
登録フォーム：<https://forms.gle/SabTrAWKtEhQTK7S8>

◎認定NPO法人とちぎコミュニティ基金の「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」に参加しています。ここからそらいろコアラへ寄付いただくことで、寄付額の手続きが税控除対象されます。
<https://www.tochicomj.org/cvsorairokoala/>



探しています

- ・妊娠検査薬（1年に数個）
 - ・おむつなど育児用品（いくつでも）
- 妊娠・出産・育児の相談窓口「コアラLINE」を通して、「必要だが買えない」方へお届けします。
個人・団体・企業の方で、上記物品のご寄付を頂ける方、ぜひ団体メールまでご連絡ください！
(☎ sora_iro_koala.npo@gmail.com)

コアラのひとりごと

コアラは大きな耳を持っている。よく見えます。実際は小さな耳なのですが、ふさふさの毛のおかげで大きく見えるのです。コアラはかなり離れた距離でも鳴き声で意思疎通を図るため、耳も重要な役割をしています。わたしたちも小さな耳ですが、どんなに離れたところにいる人からの、どんなに小さな声もキャッチしていきたいと思っています。



そらいろコアラ (NPO申請中)
そらいろノート

2020.9.06
VOL.4

たくさんのご寄付
本当にありがとうございます



「コロナ支え合い基金」を通し、8月末までに、そらいろコアラへ19万3千円のご寄付をいただきました。委託等のいまま活動を進める私たちにとって、本当に大きな活動資金になります。この場を借りて、御礼申し上げます。



我々たちは寄付いただいた方の情報が分からないため、活動報告は認定NPO法人とちぎコミュニティ基金さんを通してお送りさせていただきます。同基金終了後にも引き続き、活動報告等をお送りしたく、そらいろコアラの団体メールやTwitterへご連絡ください。

同基金は今後も寄付オープン中です。（詳細下記）。皆様からの温かいご支援に、心から感謝申し上げます。

活動報告

先週、栃木県小山市役所で、妊娠・子育て家庭を支える2つの課の担当者の方々と面会しました。
団体がNPO認証された後、妊娠・出産・育児のLINE相談窓口「コアラLINE」を、妊産婦さんやそのご家庭に紹介して下さることになりました。
小山市でも、妊娠・子育て家庭に向けて様々な支援を提供しています。一方で、それらの支援に繋がっていないけれどニーズがある方がいることも分かっています。支援へ繋がるポケットに、コアラがなれたらいいと思います。

コアラLINE ミニ案内完成・設置中！

「コアラLINE」の、名刺サイズ案内を作成しました。県南地域の保育園など、ご賛同いただける場所から設置を進めています。設置にご賛同いただける方、団体メールまでぜひご連絡ください！



ご支援をお願いいたします

◎相談窓口「コアラLINE」の運営をはじめ、継続的な活動資金が必要です。どうかサポーター会員となって、活動を支えてください！
<https://forms.gle/SabTrAWKtEhQTK7S8>

◎認定NPO法人とちぎコミュニティ基金の「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」に参加しています。ここからそらいろコアラへ寄付いただくことで、寄付額の手続きが税控除対象されます。
<https://www.tochicomj.org/cvsorairokoala/>



探しています

- ・妊娠検査薬（1年に数個）
 - ・おむつなど育児用品（いくつでも）
- 妊娠・出産・育児の相談窓口「コアラLINE」を通して、「必要だが買えない」方へお届けします。
個人・団体・企業の方で、上記物品のご寄付を頂ける方、ぜひ団体メールまでご連絡ください！
(☎ sora_iro_koala.npo@gmail.com)

コアラのひとりごと



コアラはよく眠ります。1日18〜20時間は眠っているとか、なぜそんなに長いのか。それは、主食のユーカリの葉の葉素分解に、多くのエネルギーを使うからです。皆様もコアラのように「よく寝てよく食べる」今年の夏も乗り切りましょう！
そらいろノート、次回の配信は9/20予定です！お楽しみに〜♪

チャレンジドコミュニティ さん 活動報告とお礼

ご支援、ありがとうございました。

「コロナ支え合い基金」を通じてのたくさんのご支援ありがとうございました。

コロナウイルスの影響により〔在宅就労〕が注目されるようになりました。就労を目指すチャレンジドには様々な逆境が存在します。そんな中での、コロナウイルスの蔓延という事態は悲しむべきことであり、乗り越えるべきあらたな課題として加わりました。私達はあえて前向きな姿勢として〔在宅就労への注目〕をひとつの光明と捉え、いかなる形であろうが〔仕事がしたい。社会に羽ばたきたい〕というチャレンジドの熱意に応えるべく、温かいご支援を活かしていこうと考えております。

チャレンジド・コミュニティ 理事長 金井 光一 チャレンジド IT センター センター長 矢口 真
HP <https://npocc.org/> メールアドレス info@npocc.org

えんがお さん 活動報告とお礼

この度は、基金を通じて当法人を応援してくださり、本当にありがとうございます。私たちは、コロナの影響により「人と繋がる場」がなくなってしまった方々を、高齢者を中心に支援するための取り組みを進めました。表現の非常に難しいところですが、対策を進めた上で「人と会う」という選択肢自体は提示し続けることが重要だということを現場にて実感しております。

そのための、対策の徹底としての消息液の充足や集まれる場所の設備の見直しなどに今回の資金を当てさせていただきます。

皆様の本当に貴重な財産を、期待とともにご寄付いただいたことを丁寧に受け止め、引き続き邁進していきます。今後とも応援のほど、よろしくお願いいたします。



一般社団法人えんがお 代表理事 濱野将行

Mail : engawa.smile@gmail.com Tell : 0287339110 HP : <https://www.engawa-smile.org>

うりずん さん 活動報告とお礼

この度は、私たちうりずんの「難病・コロナと闘う子どもと家族に笑顔を！」プログラムへ、沢山のご寄付をいただき、心より御礼申し上げます。うりずんは、重い障がいをもつ子どもをお預かりして、24時間片時も離れることができない厳しい介護を担う家族に、ひと時の休息を提供しています。平常時でも大変なご苦労されているご利用者・ご家族がコロナ禍で更なる苦難を被ることなく、笑顔で過ごされるお手伝いをさせていただければと願っています。いただいたご寄付は、お子様たちを安全安心にお預かりするための衛生物品の購入や、来所できない子どもたちとのオンラインプログラム作成等に有効に活用させていただきます。今後も、ご支援くださいますよう、お願い申し上げます。

認定 NPO 法人うりずん 我妻英司

Mail: urizn@hibari-clinic.com HP : <https://www.npourizn.org/>



フードバンクうつのみや さん 活動報告とお礼

この度は、「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」を通じて、ご寄付のご支援をいただき誠にありがとうございました。

新型コロナウイルスの感染者が増える中、活動自粛も考えることが多々ありました。しかし、活動を自粛してしまうと新型コロナウイルスの影響で日々増えている生活に困っている人に対しての食品の支援ができなくなってしまうので、できるだけ対策をして活動する選択を行いました。おかげさまで食品の寄贈も沢山いただくことができました。

困窮している子どもを抱えている家庭の力となるべく活動を続けていきたいと思っておりますので、今後ともご協力お願いいたします。なお、活動の様子は Twitter でも日々発信中です。ぜひご覧ください。

NPO 法人フードバンクうつのみや 徳山篤

Mail: info@fbu2189.org HP <https://fbu2189.org/>

Twitter https://twitter.com/FB_utsunomiya_



栃木県若年者支援機構 さん 活動報告とお礼

コロナ禍は、生きづらさを抱えた若者達にも多大なる不安をもたらしました。動き出せないでいた若者が、勇気を奮い立たせてできることから少しずつ踏み出してみよう・・・そう思っていた矢先の自粛要請。

出鼻を挫かれてしまった彼らは、これからどうしたらよいのか混乱した気持ちを抱えて日々を過ごしています。

僅かなバイトの収入で綱渡りのような日々を過ごしている若者からは、コロナ禍で仕事が減ってしまった時に「もう死ぬしかないから・・・」と嘆くメールが何通も届きました。

どのように自分の人生を歩んでいったらよいのか、そもそも生きづらさを抱えていた若者たちにとって、この事態に不安は深まるばかりです。

そんな彼らとラインやメールでつながり続けることや、食材などの物資を届けに顔を出したりしながら、共にこの困難な状況を乗り越えていきたいと切に願っています。

一般社団法人 栃木県若年者支援機構 吉井 ひさの

Mail: info@tochigi-yso.org HP: <https://www.tochigi-yso.org/>



トチギ環境未来基地 さん 活動報告とお礼

新型コロナウイルスの影響により、子どもたちの自然体験や外遊びの機会が減っています。みんなで、外で楽しく遊んだり、自然に触れあったりすることは子どもたちにとって大切な時間です。皆様のご支援により、コロナウイルスに気をつけながら、子どもたちが安全に楽しく遊べる里山を整備し、子どもたちが少人数で、里山で遊ぶ機会を提供しています。

現在、益子町、市貝町、栃木市の里山や竹林の整備を行っています。こうした里山をいかして、森でリフレ

ツシュプログラムも定期的に継続して開催しています。保護者の方々からも『今回のプログラムには、本当に救われました。子どもも親もたくさんストレスを感じていたので、お互いに良い気分転換になりました』、『運動不足が続いていたので、森の中で友達と走り回ったり、遊んだりできたのは子どもにとってもすごく楽しかったようです』といった感想をいただいています。引き続きご支援よろしく申し上げます。

NPO 法人 トチギ環境未来基地

Mail: tochigi@conservation-corps.jp HP: <https://www.tochigi-cc.org/>



とちぎアニマルセラピー協会 さん 活動報告とお礼

この度は「がんばろう栃木！コロナ支え合い基金」を通じてご支援をいただき、ありがとうございます。セラピー犬は「補助犬法」に守られている盲導犬などとは違い、活動費のすべてを独自に調達しなくてはなりません。当会は直営のドッグカフェの収益で活動費用の不足分を賄って参りましたが、コロナ禍は飲食業を直撃しており、運営が危機的な状態に陥っています。

活動を継続し、次の時代につなぐためにこの度のご支援は大切に使用させていただきます。

そして、皆さんからのご支援のお礼として、今の私たちにできることを考えています。近いうちにお知らせできる予定ですので、Facebook やウェブサイトをご確認ください。

- <https://www.アニマルセラピー.jp/> (ウェブサイト)
- <https://www.facebook.com/iyashi.animal/> (フェイスブック)

直営のドッグカフェ「Maera」はセラピードッグに会える全国で唯一のドッグカフェです。機会があればセラピードッグに会いに来てアニマルセラピーを体験してください。

- <https://www.maera.jp/>

これからも引き続き、ご支援をお願いします。

--

NPO 法人とちぎアニマルセラピー協会 理事長 平澤 剛

キーデザイン さん 活動報告とお礼

こんにちは。キーデザインの代表土橋と申します。

このコロナ禍で、起きた学校や生活の変化で不登校につながるケースが増えています。子どもの不登校に悩む親御さん向けの LINE 相談窓口をオープンしてから約 4 か月。登録者数が 250 名を超え 120 名以上の方とやり取りをしそこからフリースクールやホームスクールにつながった事例もあります。

最近窓利用の方対象でアンケートを取り 125 件の回答を得られました。この回答内容を参考に今後の取組みを改善していくことまたメディア等で発信することで一人ひとりの声を社会にひろく届けこの社会に不登校に悩む家族を 0 にします。

これからもどうぞよろしく申し上げます！

NPO 法人キーデザイン 代表理事土橋優平

Mail: info@npo-keydesign.org HP: <https://www.npo-keydesign.org/>

サシバの里自然学校 さん 活動報告とお礼

これまで我々は、「人と自然を結ぶ。自然の中で人と人を結ぶ」活動を行ってきました。しかし、このコロナ禍においてこれまで我々が育ててきた人々と手と手を取り合いながら行うような自然の中での体験活動の実施が困難となって来てしまいました。

しかし、そのような状況の中でも、サシバの里自然学校ではオンラインを活用した自然とのふれあいの機会、三密を避けながらの少人数での自然体験を徐々にですが再開しつつあります。

また、このコロナ支え合い基金をきっかけに栃木県内の自然体験活動団体のつながりを強固にしようとネットワーク組織を準備中です。

まだまだ先の見通せないコロナ禍ですが、自然体験の重要性、必要性を幅広く伝えていければと考えています。今後とも引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

サシバの里自然学校 校長

とちぎ自然体験活動ネットワーク準備委員会 代表 遠藤 隼

Mail: sashiba.natureschool@gmail.com HP: <https://www.sashiba-ns.com/>



市民による防護具実行委員会 さん 活動報告とお礼

6月に宇都宮市医師会と共同で必要な物品についてのアンケートを実施しました。その結果、宇都宮市内医療機関約400団体のうち106件から回答がありました。

内容は、

①「病院、有床診療所、無床診療所」のうち、診療所でのニーズが高い。⇒比較的小規模の医療機関が大変になっている。

②コロナでの外来を受け付けていない診療所でも、受診者（診療報酬）が減っている。

などが推察されました。その意味で今回のアンケート対象になっていない歯科医院はもっと大変になっていると思われる。今後アンケート内容を公表しタイミングをみて防護具・消毒薬を募集し配布する予定です。

防護具、消毒薬確保プロジェクト実行委員会（とちぎボランティアネットワーク内）

事務局・矢野正広 Mail: info@tochigivnet.jp

だいじょうぶ さん 活動報告とお礼

だいじょうぶの食材提供プログラムにご支援いただいた皆様。ありがとうございます。

コロナ支え合い基金を通じていただいたご寄付と、直接だいじょうぶに寄せられるご寄付、今市ロータリークラブからいただく予定の助成金を使って、12月に食材100セットの配布会を計画中です。追って、配布会の様子等お伝えできればと思っております。報告をお待ちください。

12月の配布だけでは終わらず、それ以降も必要に応じて食材支援を考えております。引き続き、ご支援、よろしくお願いいたします。

NPO 法人だいじょうぶ 前田 利一

Mail: hope@npo-daijobu.com HP: <https://www.npo-daijobu.com/>

